

【投資アカデミー@広島】

相場の見通しのポイントと 投資判断につなげるiSPEEDの活用法

Apr 12th, 2025

土信田 雅之

楽天証券経済研究所 シニアマーケットアナリスト

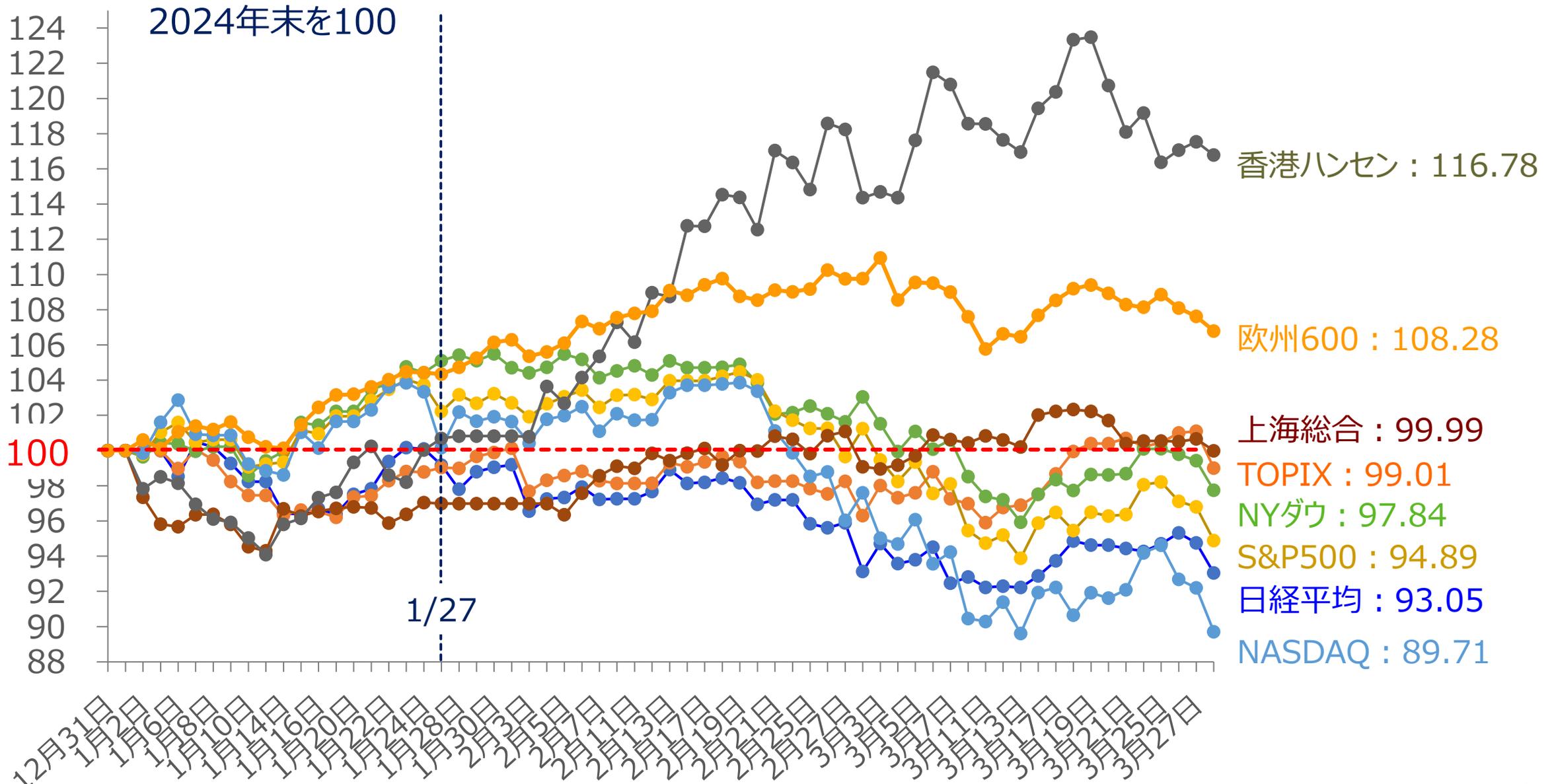
IFTA(国際テクニカルアナリスト連盟)

認定テクニカルアナリスト(CFTe®)

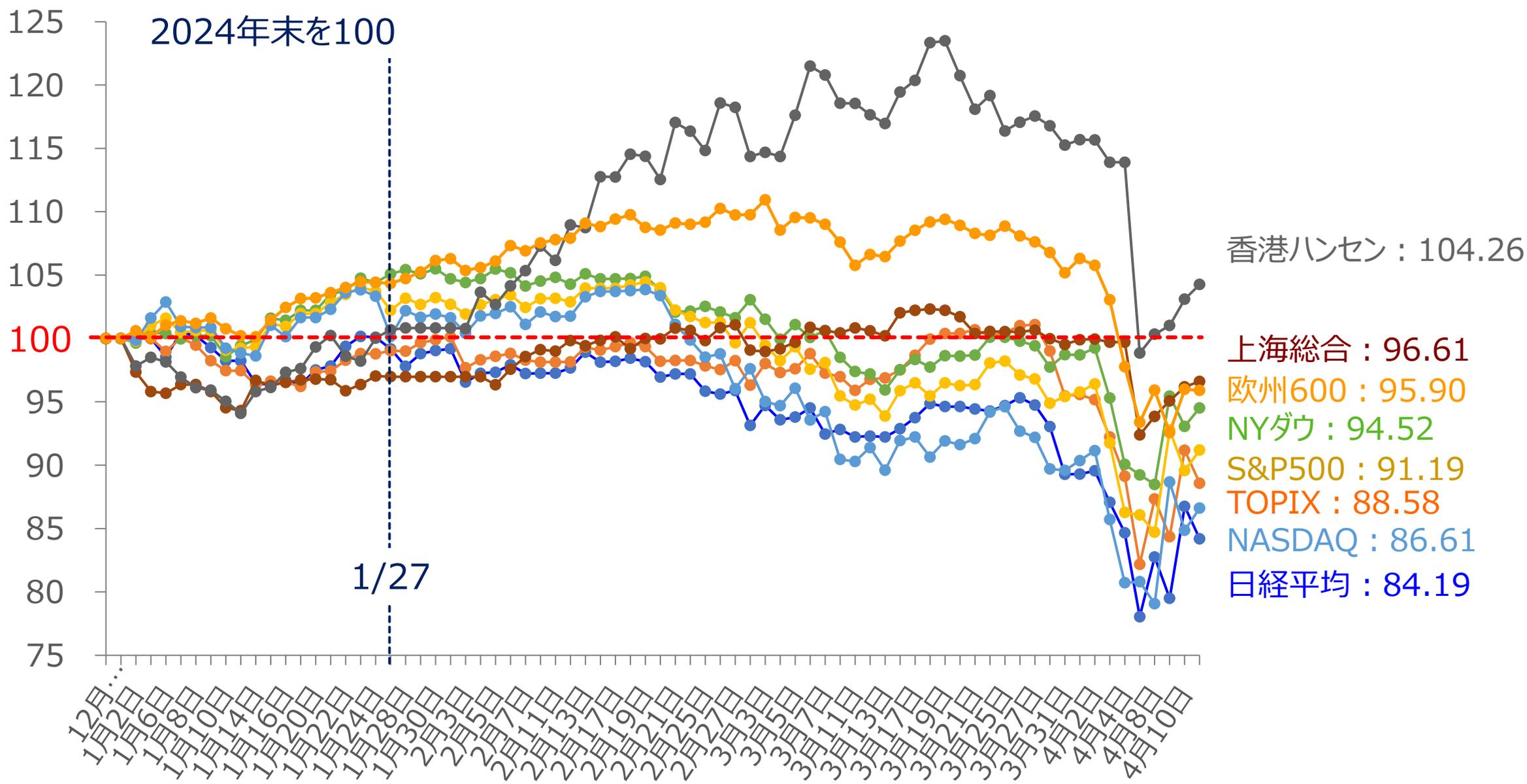
■ 今回のテーマ

- ① 最近の相場状況について
- ② 投資活動に活かすiSPEEDの使い方
投資情報編
テクニカル編
- ③ 今後の株式市場のポイント

■ 日米中の主要株価指数の値動き比較 (2024年末を100) 2025/3/28時点



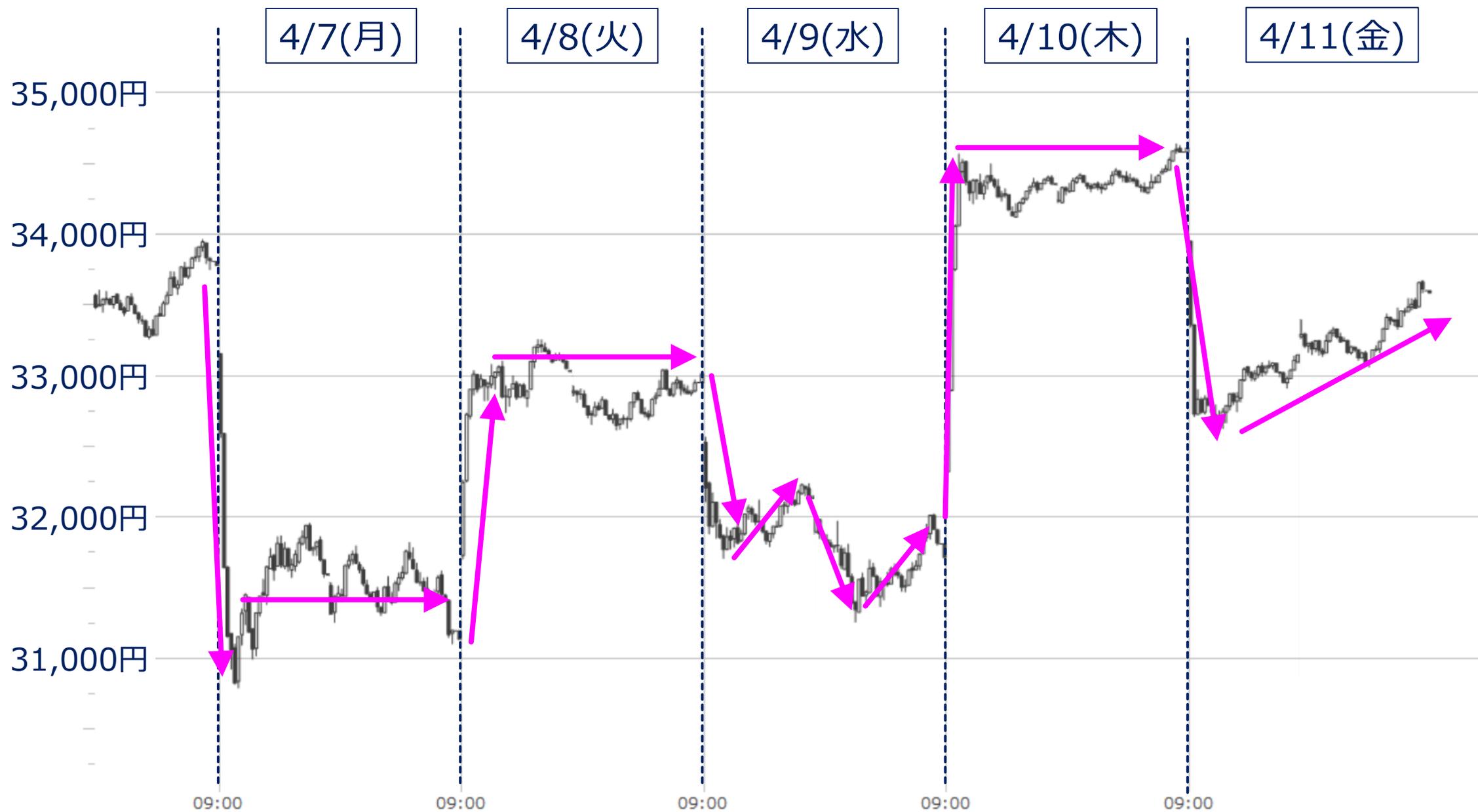
■ 日米中の主要株価指数の値動き比較 (2024年末を100) 2025/4/11時点



■ 日経平均(日足)の動き 2025/4/11時点



■ 日経平均(5分足)の動き 2025/4/7~4/10

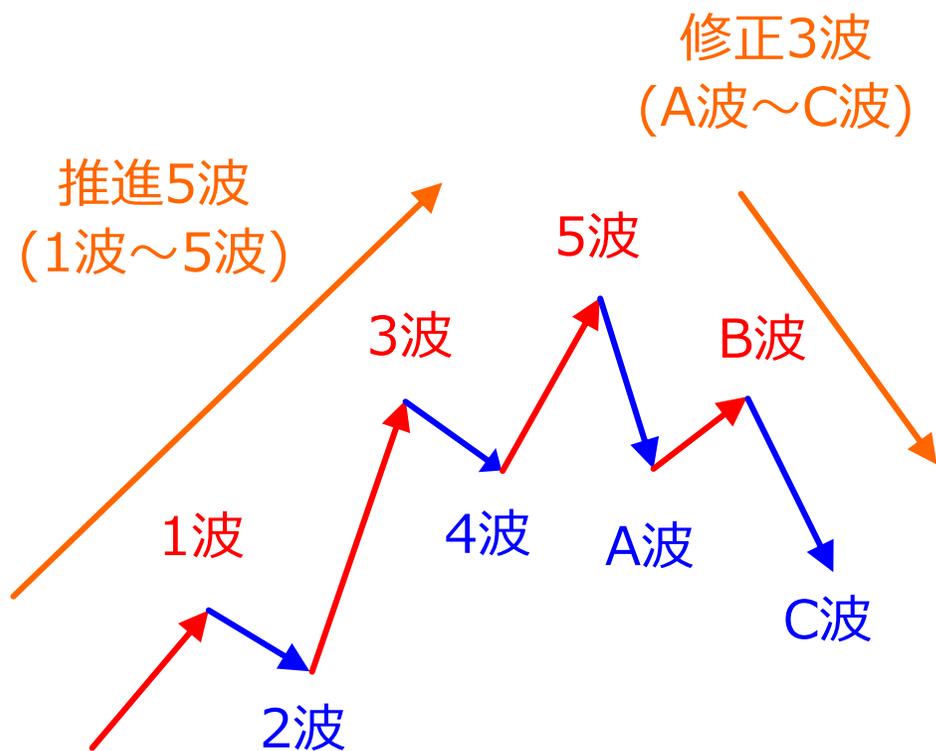


■ 日経平均(週足)とエリオット波動 2025/4/11時点

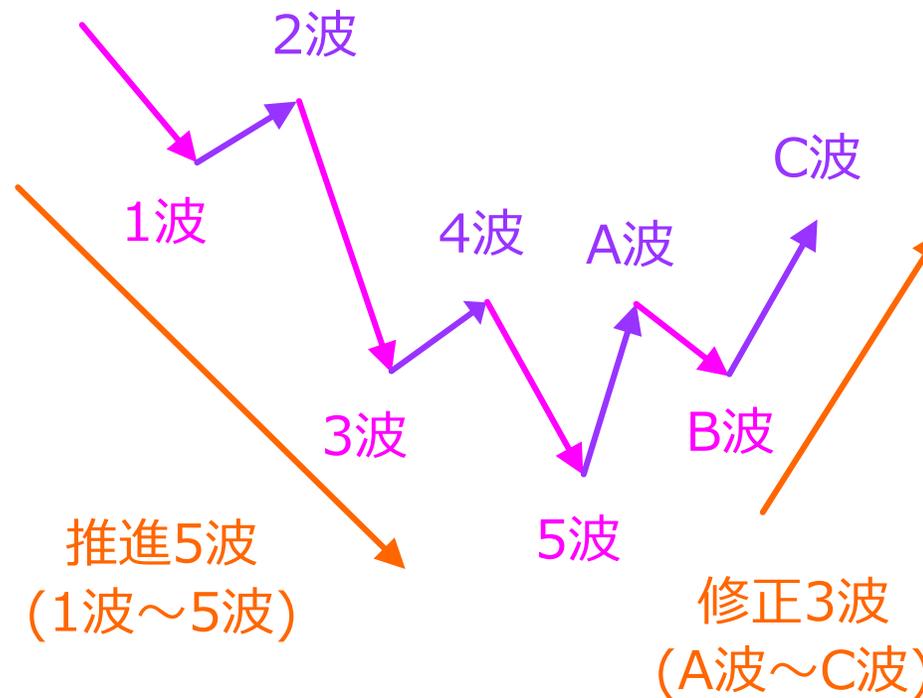


■ エリオット波動の波の動き

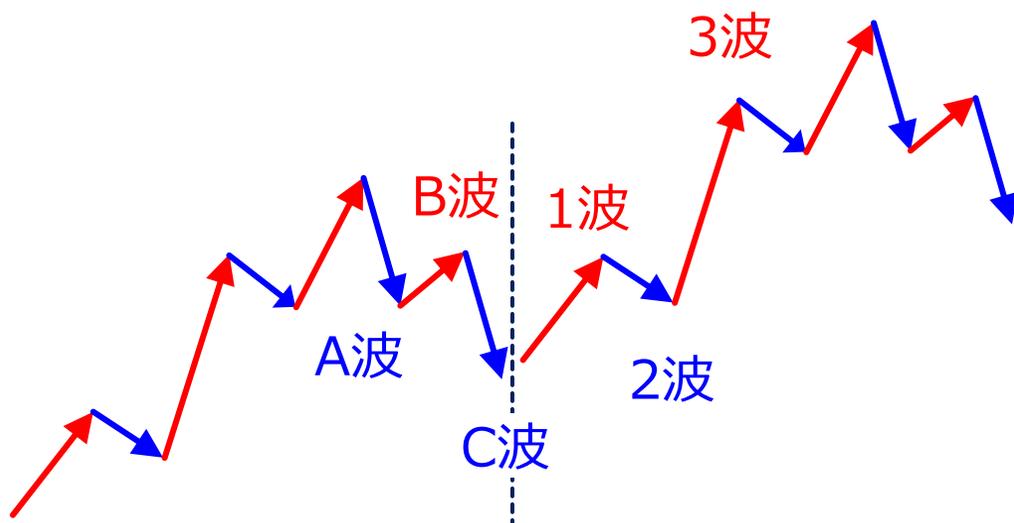
「上昇推進」



「下落推進」



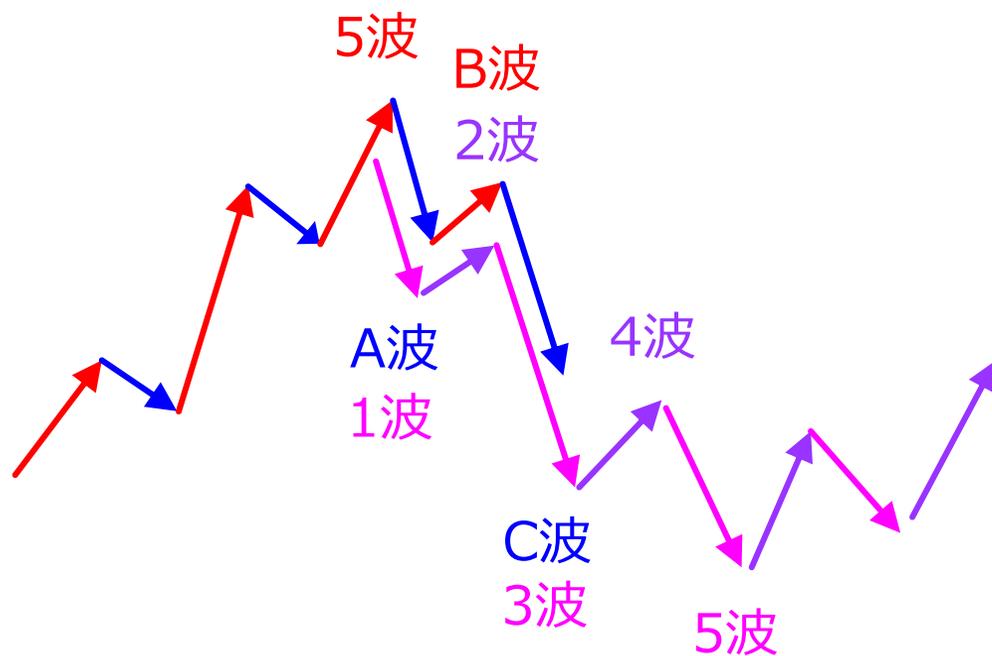
■ エリオット波動の波の動き



上昇推進の継続

「上昇推進」サイクルを繰り返す

⇒ 中期的な上昇トレンド続く



下落推進への転換

「上昇推進」から「下落推進」へ

⇒ 中期的な下落トレンド入り

■ 日経平均(週足)の動き 2025/4/11時点 ~ 下値の目処は? ~



■ 「売り」の種類に注目

① 強気派の「ふるい落とし」の売り

② 相場変動に耐え切れなくなったポジションを投げる売り

③ 景気減速など、状況の悪化を織り込む売り

④ 目先の株価の動きに乗っかる売り

⑤ (トランプ政権の)政策修正を催促する売り

■ 相場のチェックに活かす、iSPEED活用例

<メニューアイコン>  マーケット  検索  お気に入り

時間帯	利用する機能・情報
朝	 「市況」、「ニュース」、「ランキング」  「お気に入り(登録銘柄)」
日中	 「市況」、「ニュース」、「ランキング」  「お気に入り(登録銘柄)」  「業種」、「テーマ」、「チャートの形状」
夕方～夜	 「市況」、「ニュース」、「ランキング」  「お気に入り(登録銘柄)」  「業種」、「テーマ」
その他	 「トウシル」、「日経テレコン」、「バロンズ・ダイジェスト」  「スーパースクリーナー」、「チャートの形状」、「決算速報」、「優待株を検索」

■ メニューアイコンの編集 その①

<iSPEED画面>

画面下部にメニューアイコン表示欄



右端の
メニュー
アイコンを
タップ



「メニュー並び替え」を選択



■ メニューアイコンの編集 その②



8つのアイコンから、タップして
常に表示したいものを5つ選択

(設定例)：情報確認に特化



- ・マーケット
- ・検索
- ・お気に入り
- ・TODAY
- ・更新

■ 【マーケット】の「市況」画面

- 株価指数や先物価格、為替などの動向を確認

- 好みに応じて表示を変更 ここをタップ→



※表示の選択：リスト、タイル(小)、タイル(大)、チャート、チャートペア

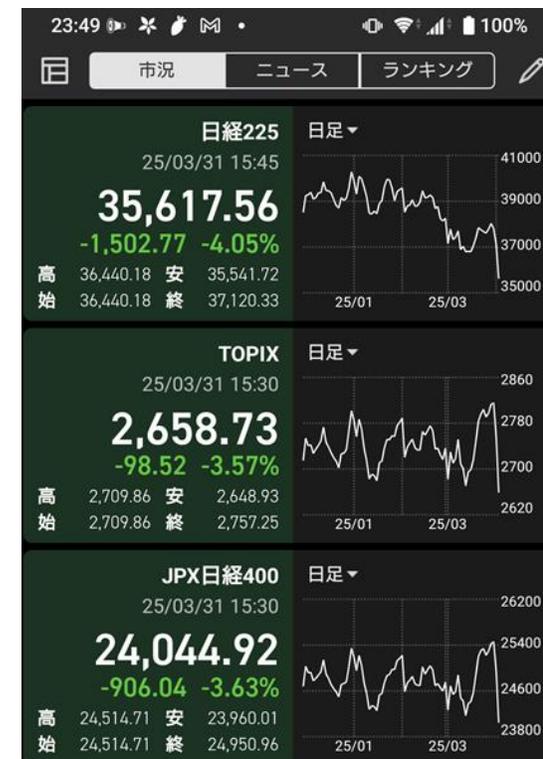
<リスト>

銘柄	最新値	変動
日経225	35,617.56	-1,502.77 (-4.05%)
TOPIX	2,658.73	-98.52 (-3.57%)
JPX日経400	24,044.92	-906.04 (-3.63%)
東証プライム市場指数	1,368.40	-50.73 (-3.57%)
グロース250指数	651.41	-17.48 (-2.61%)
日経225先物(期近)	35,750	+30 (+0.08%)
TOPIX先物(期近)	2,675.0	+14.0 (+0.53%)
NYダウ30種	41,545.63	-38.27 (-0.09%)
NASDAQ	16,970.04	-352.94 (-2.04%)

<タイル(小)>

日経225 25/03/31 15:45 35,617.56 -1,502.77 -4.05%	TOPIX 25/03/31 15:30 2,658.73 -98.52 -3.57%	JPX日経400 25/03/31 15:30 24,044.92 -906.04 -3.63%
東証プライム市場指数 25/03/31 15:30 1,368.40 -50.73 -3.57%	グロース250指数 25/03/31 15:30 651.41 -17.48 -2.61%	日経225先物(期近) 25/03/31 23:42 35,780 +60 +0.17%
TOPIX先物(期近) 25/03/31 23:42 2,675.5 +14.5 +0.54%	NYダウ30種 25/03/31 23:32 41,458.69 -125.21 -0.30%	NASDAQ 25/03/31 23:42 16,993.99 -329.00 -1.90%
S&P500指数 25/03/31 23:42 5,534.56 -46.38 -0.83%	VIX指数 25/03/31 23:42 23.17 +1.52 +7.02%	上海総合指数 25/03/31 16:00 3,335.74 -15.56 -0.46%

<チャートペア>



■ 【マーケット】の「ニュース」画面 その①



■ 各種ニュースが一覧表示

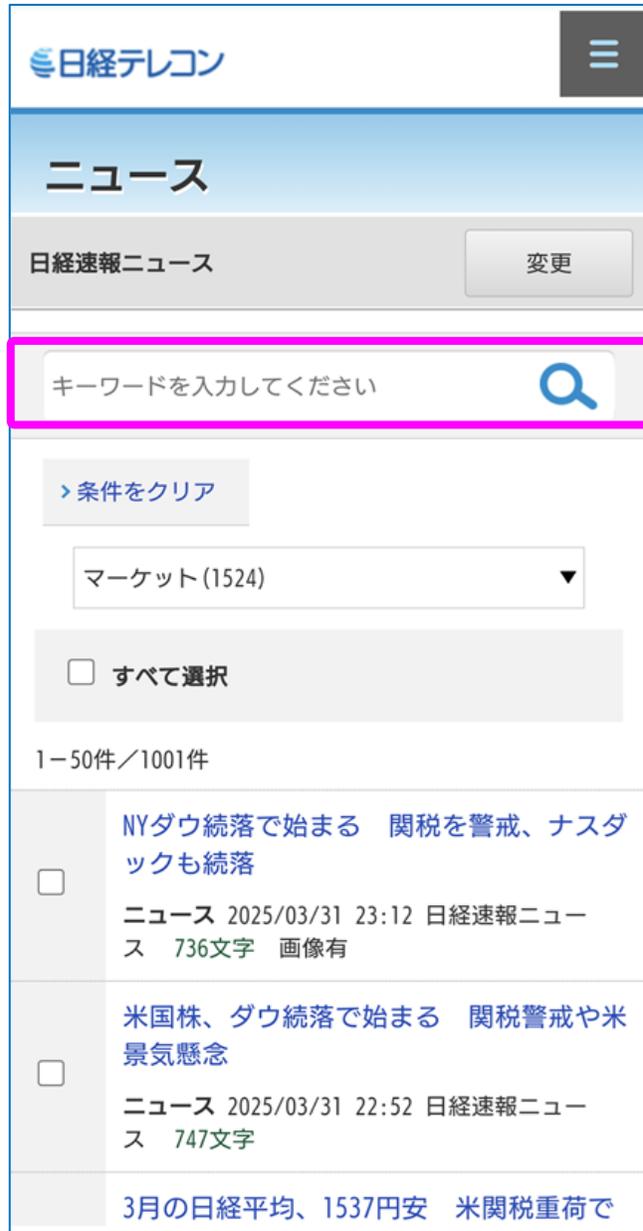
- ・ 相場概況や場況解説
- ・ 個別銘柄動向
- ・ 経済指標結果
- ・ 決算情報

⇒ おすすめの見出しは
〔マーケットアイ〕、〔兜町ウォッチャー〕、〔アングル〕
個別銘柄のひと口情報 & スポット情報

別途、WEB画面で表示される情報も

「トウシル」、「日経テレコン」、「バロンズ・ダイジェスト」など

■ 【マーケット】の「ニュース」画面 その② 日経テレコン



■ iSPEEDとは別にWEB画面で表示されるニュースサイト

■ 検索機能(過去5日間)があり、使い勝手が良い

- ・ 探したいニュースやキーワードがある場合に有効

- ・ 日本経済新聞系のため、相場データのニュースも有り
市場のPER(株価収益率)や、PBR(純資産倍率)、
時価総額、各種利回りなど、

※検索欄に「東証株式」と入力

⇒ その他、おすすめの検索キーワード

「今日の株価材料」、「来週のマーケット展望」、
「今週の株式」など

■ 【マーケット】の「ニュース」画面 その③ バロنز・ダイジェスト

■ 毎週水曜日の17時頃に更新、PDF版のレポート(結構長いです)を読むことが可能

Dow Jones Weekly Newsletter

バロنز・ダイジェスト

権威ある海外メディアの視点で、週明けの東京市場に影響を与える分析記事も充実。
バロنز誌とは、ダウ・ジョーンズ社が発行する米国で最も著名な投資週刊誌です。バロنزの発行部数は30万部、金融業界人と投資家の必読誌です。
『バロنز・ダイジェスト』は、バロنز誌の中から、日本の投資家にも役立つ記事を日本語で抜粋・要約したレポートです。
毎週水曜日の17時以降に更新いたします。

[「バロنز・ダイジェスト」読みこなしガイドはこちら](#)

2025/03/23

米国製造業のルネサンスに向けた5銘柄 GE Vernova and 4 More Stocks for an American Manufacturing Renaissance[フィーチャー] **NEW** PDF
電力需要増加の恩恵を受ける資本財銘柄

2025/03/16

マグニフィセント・セブンが急落、今買うべき4銘柄は「カバーストーリー」 The Mag 7 Stocks Have Gotten Crushed. Buy These 4 Now[カバーストーリー] **PDF**
最も魅力的なのはアマゾン

2025/03/09

トランプ大統領が画策する世界的な「パラダイムシフト」 Trump Is Engineering a Global Paradigm Shift.[コラム] **PDF**
米国株には逆風に

バロنز・ダイジェスト

Published by Jiji Press in association with Barron's Group

2025/03/23
THIS WEEK'S MAGAZINE

JIJI PRESS DOW JONES

1. 1人暮らしの高齢者が直面する新たな課題と対処法 - Single Retirees Face New Challenges. Here Are Ways to Cope. [カバーストーリー] P.1
年々増加するおひとりさま高齢者
2. CKハチソンは米中の板挟みだが、株価は上がる - This Company Is Stuck Between Donald Trump and Xi Jinping [注目銘柄] P.6
質の高い資産に対して株価は非常に割安
3. 米国製造業のルネサンスに向けた5銘柄 - GE Vernova and 4 More Stocks for an American Manufacturing Renaissance [フィーチャー] P.9
電力需要増加の恩恵を受ける資本財銘柄
4. ユニバーサル、フロリダのテーマパーク覇権へ攻勢 - Universal Is Making a Play for Theme Park Dominance. [フィーチャー] P.14
「エピック・ユニバース」始動、王者ディズニーに揺さぶり
5. 「歴史の終わり」から数十年を経て、自由民主主義が後退している - Decades After the 'End of History,' Liberal Democracy Is In Retreat [フィーチャー] P.17
民主主義と自由経済から乖離する現代国家はどこへ向かうのか
6. FRB、QT減速で米国債再投資へ - Fed's Planned Treasury Buying Will Come in Handy as Others Sell [コラム] P.19
外国人投資家中長期債売りに対応、債務上限も意識
7. 続落は止まったが、警戒を続けるべきだ - The Market Snaps Its Losing Streak. Don't Let Your Guard Down. [米国株式市場] P.21
バリュー株投資が有効だが、小型バリュー株は投資タイミングに注意
8. 急成長するプライベートクレジット市場の隠されたリスク - Private Credit Market Risks Are Hidden. That Doesn't Mean No Risks. [コラム] P.23
リスクがないわけではない
9. エスビディア、開発者会議でAIリーダーの余裕示す - Nvidia's Disconnect: An Improving Business With a Cheaper Stock [ハイテク] P.25
下落にもかかわらず目下の株バリュエーションは割安
10. S&P500指数銘柄のディフェンシブランキング - Ranking the S&P 500s Most Defensive Stocks [経済関連スケジュール] P.27
相場暴落に強い銘柄を株価データから分析

■ 【マーケット】の「ランキング」画面 その①



日本株 or 米国株
を選択



市場ランキング
楽天証券ランキング



アナリスト注目ランキング

銘柄名	売買代金	現在値
1 ファーストリテ... 9983 東P	283,791,975	44,060 -3.67%
2 NF日経レバ 1570 東P	209,434,920	22,580 -7.69%
3 三菱重工業 7011 東P	145,063,291	2,526 -4.35%
4 ディスコ 6146 東P	142,674,950	29,895 -8.38%
5 フジクラ 5803 東P	139,112,887	5,398 -5.15%
6 三菱UFJファイ... 8306 東P	132,913,096	2,011 -4.62%
7 アドバンテスト 6857 東P	128,468,031	6,472 -7.65%
8 川崎重工業 7012 東P	114,311,793	8,928 -4.64%
9 トヨタ自動車 7203 東P	113,943,188	2,616 -3.13%
10 東京エレクトロン 8035 東P	90,114,943	20,110 -6.57%

ランキングの項目を選択

- 売買代金
- 値上がり・値下がり
- 値上がり率・値下がり率 など

※市場選択も可能

国内：全市場、東証P、東証S、東証G
米国：全市場、NYSE、NASDAQ

■ 【マーケット】の「ランキング」画面 その② 米株アナリスト注目ランキング



米国株銘柄のアナリスト予想のランキング

- 期間を選択可：直近30日、7日、3日
- 評価数が多い銘柄ランキング
- 買い予想が多い銘柄ランキング
- 売り予想が多い銘柄ランキング

※時価総額や業種どとの絞り込みも可能

■ 【検索】画面について

<テーマ>

人気のテーマやキーワード、
および関連銘柄

<決算速報>

日米の企業決算動向



<業種>
東証33業種の騰落状況

■ 【検索】「業種」画面

←	業種		
	水産・農林業 25/03/31 - 15:30	590.04	-11.10 -1.85%
	鉱業 25/03/31 - 15:30	612.36	-16.95 -2.69%
	建設業 25/03/31 - 15:30	1,806.26	-47.59 -2.57%
	食料品 25/03/31 - 15:30	2,190.02	-49.42 -2.21%
	繊維製品 25/03/31 - 15:30	791.16	-18.55 -2.29%
	パルプ・紙 25/03/31 - 15:30	493.60	-9.32 -1.85%
	化学 25/03/31 - 15:30	2,229.57	-72.85 -3.16%
	医薬品 25/03/31 - 15:30	3,392.98	-98.62 -2.82%
	石油・石炭製品 25/03/31 - 15:30	1,850.07	-93.11 -4.79%

←	検索結果		
	海運業 検索結果：11件		
	日本郵船 9101 東P 15:30	4,921	-117 -2.32%
	商船三井 9104 東P 15:30	5,188	-92 -1.74%
	川崎汽船 9107 東P 15:30	2,023.5	-59 -2.83%
	NSユニテッド海... 9110 東P 15:30	4,005	-60 -1.48%
	明海グループ 9115 東S 15:30	608	-44 -6.75%
	飯野海運 9119 東P 15:30	997	-28 -2.73%
	玉井商船 9127 東S 15:30	1,683	-79 -4.48%
	共栄タンカー 9130 東S 15:30	990	-25 -2.46%

■【検索】「テーマ」画面

← 人気 急上昇 ジャンル

過去72時間のアクセス数から今人気のテーマを表示 ×

テーマ	前日比率
1 読売333 → その他	-3.24%
2 東証再編 → その他	-2.19%
3 防衛 → 資本財	-3.33%
4 地方銀行 → 金融	-2.78%
5 半導体 → 情報技術	-4.12%
6 ドローン → 資本財/情報技術	-2.52%
7 人工知能 → 情報技術	-2.64%

← 人気 急上昇 ジャンル

過去24時間のアクセス増加数から今急上昇のテーマを表示 ×

テーマ	前日比率
1 住宅関連 → 一般消費財	-1.50%
2 百貨店 → 一般消費財	-2.10%
3 クルーズ → 一般消費財	-1.94%
4 ロシア関連 → その他	-2.89%
5 歯科 → ヘルスケア	-2.10%
6 物流 → 資本財	-1.85%
7 新型コロナウイルス業 → ヘルスケア	-3.01%

← 人気 急上昇 ジャンル

キーワードで検索

	
一般消費財 -2.11% 繊維商品 小売業 サービス	生活必需品 -1.68% 食品 水産・農林 小売
	
エネルギー -3.15% 鉱業 石油・石炭	金融 -2.63% 銀行 証券 保険 その他金融
	

■ 【検索】「決算速報」画面

← 国内株式 米国株式	
銘柄：すべて	絞り込
銘柄名	ニュース
ホギメディカル 3593 東P	2025年3月期連結本決算経常見通し下方修正。15.9%減益を予想。 2025/03/31 18:00 業予
ハリマ共和物産 7444 東S	2025年3月期連結第3四半期(累計)、経常損益1,676百万円。 2025/03/31 17:00 決算
ユーピーアール 7065 東S	2025年8月期連結本決算経常見通し下方修正。20.3%減益を予想。 2025/03/31 16:40 業予
H I S 9603 東P	2024年10月期連結、経常損益10,451百万円。IFISコンセンサスを下回る水準。 2025/03/31 16:00 決算
H I S 9603 東P	2024年10月期連結第1四半期、経常損益5,270百万円。 2025/03/31 16:00 決算
Y E デジタル 2354 東S	2025年2月期連結、1.9%経常減益。事前予想を上回る水準。 2025/03/31 16:00 決算

ホギメディカル (3593)

2025/03/31 18:00

📄 営業外費用および特別損失の計上ならびに2025年3月期通期業績予想の修...

サプライズ度 ★☆☆☆☆

業績進捗状況 ☆☆☆☆☆

対前年成長率 ★☆☆☆☆

2025年3月期連結本決算経常見通し下方修正。 15.9%減益を予想。

ホギメディカル<3593>が3月31日に発表した業績予想によると、2025年3月期本決算の経常損益は前回予想(4,800百万円)から下方修正され、15.9%減益の3,570百万円になる見通し。因みに直前のIFISコンセンサスでは4,443百万円を予想している。

決算カルテ

【発表実績】(経常利益)

対前年同期	進捗(累積)	対従来予想	対コンセンサス
—	—	—	—

【発表通期予想】(2025/03 経常利益)

対前期	対従来予想	対コンセンサス
× -15.9%	× 下方修正	× -19.6%

■ 「四季報情報」の主な小見出し一覧

	ポジティブ	中立	ネガティブ
実績比較	<p>【絶好調】、【飛躍】、【連続最高益】、【最高益】、【続伸】、【急伸】、【連続増益】、【大幅増益】、【急拡大】、【V字回復】、【急回復】、【急反発】</p> <p>【高水準】、【好調】、【好転】、【復調】、【増益】、【堅調】、【微増益】、【小幅増益】</p> <p>【連続増配】、【増配】、【増配か】、【復配か】、【記念配】、【増配も】、【復配も】</p>	<p>【底入れ】、【底打ち】、【鈍化】、【伸び悩み】、【横ばい】、【下げ止まり】</p>	<p>【大赤字】、【不透明】、【急落】、【急悪化】、【減収減益】、【均衡圏】、【赤字続く】、【続落】、【急反落】、【ゼロ圏】、【大幅減益】</p> <p>【下降】、【軟調】、【減益】、【反落】、【小幅減益】、【微減益】</p> <p>【無配】、【無配続く】、【減配】、【無配か】、【減配か】、【無配も】、【減配も】</p>
四季報比較	<p>【大幅増額】、【上振れ】、【上方修正】、【増額】</p> <p>【一転黒字】、【減益幅縮小】</p>		<p>【大幅減額】、【下方修正】、【減額】、【下振れ】、【減益幅拡大】</p> <p>【一転赤字】、【増益幅縮小】</p>

■ チャート画面の主な構成

日足・週足・月足・分足の切り替え

※1本のローソク足の期間を指定

チャート設定に関するボタン

(上段)
トレンド系指標
が表示されるエリア

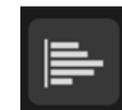
(下段)
オシレーター系指標
が表示されるエリア



設定



描画



価格帯別売買高

「カーソル」(黄色の点線)

時間軸と価格軸に表示

スライドさせて移動したところの価格や時間を反映

■ iSPEEDで利用できるテクニカル指標

<トレンド>

- ・ 単純移動平均
- ・ ボリンジャーバンド
- ・ 一目均衡
- ・ 多重移動平均
- ・ 指数平滑移動平均
- ・ VWAP
- ・ パラボリック

※同時に2つまで表示可能

<オシレーター>

- ・ 出来高
- ・ RSI
- ・ RCI
- ・ 移動平均線乖離率
- ・ MACD
- ・ ストキャスティクス
- ・ DMI
- ・ サイコロジカル
- ・ 標準偏差

※同時に2つまで表示可能

<チャート形状>

- ・ ローソク足
- ・ 平均足

<描画>

- ・ トレンドライン
- ・ フィボナッチ・リトレースメント
- ・ フィボナッチ・タイムゾーン
- ・ ギャン・アングル
- ・ テキスト

※チャート上に描き込む機能

■ iSPEEDとテクニカル分析の視点

■ iSPEEDでテクニカル分析を使うねらい

- ①「相場の状況や変化の把握」
- ②「売買判断の材料」

スマホの長所
いつでも確認できる

■ 詳細な分析は、iSPEEDよりもMSⅡの方が優位

視認性の制限

■ チャートを読む最重要ポイントは、「トレンド」と「節目」

全体像：MSⅡ
変化：iSPEED

- ・トレンド…「発生」、「強さ」、「変化・転換」
- ・節目…値動きの「目安」、「サポート(支持)」、「レジスタンス(抵抗)」

■ MACD(移動平均収束発散)について ～ EMAを使ったテクニカル指標 ～



■ MACD(移動平均収束発散)とは？

- 使い勝手が良い？…トレンド系・オシレーター系の両方の性格を持つ
- MACDで使う移動平均線は「EMA（指数平滑移動平均線）」
- MACDは期間の異なる移動平均線どうしの「差（乖離線）」

(基本的な計算式)

MACD 12日EMA - 26日EMA
シグナル 上記のMACDをさらに9日移動平均

MACDの動き = 移動平均線どうしの価格差の動き

上下に大きく動く = トレンドの発生

「0円」ライン = 価格差がない (短期と中期のクロス)

プラス圏 : 短期線 > 中期線

マイナス圏 : 短期線 < 中期線



■ MACDの見方・使い方

■ MACDとシグナルの「クロス(交差)」

→ MACDがシグナルを上抜け(ゴールデンクロス) : 買いシグナル

→ MACDがシグナルを下抜け(デッドクロス) : 売りシグナル

→ どの位置でクロスするか、クロスのも角度も重要

■ 「0円」ライン超えは、短期と長期移動平均線のクロスを意味する

→ MACDが0円ラインより上 : 短期線 > 長期線、下 : 短期線 < 長期線

→ 株価の反発や、トレンド加速の節目となることが多い

■ 株価とMACDの「逆行現象」でトレンドの反転・継続の参考にする

■ MACDの見方・使い方

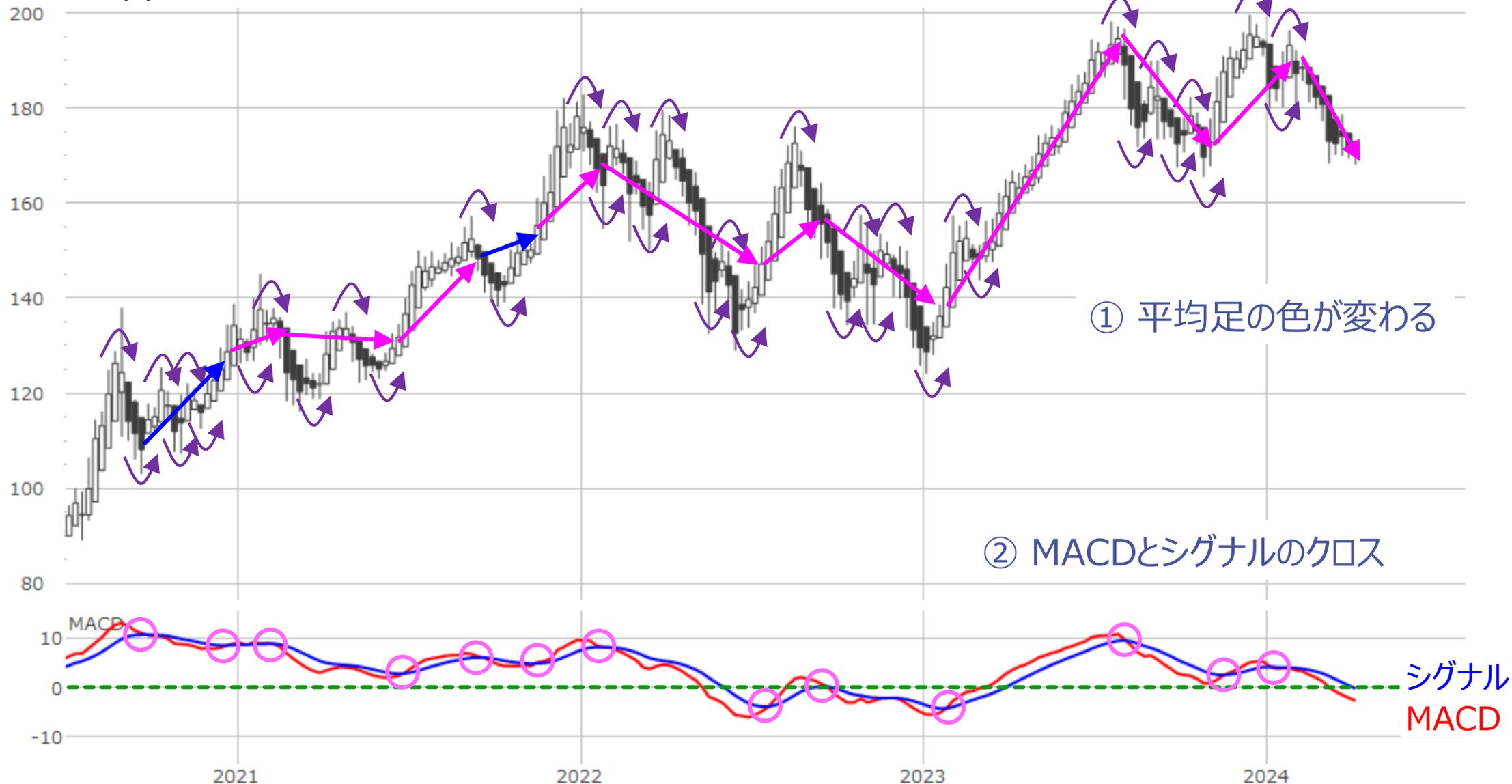
<任天堂日足：7974 (MACDの設定は短期12日と長期26日)>



■ MACDを使った「トレンドの転換」を捉える手法

～ 平均足とMACD ～

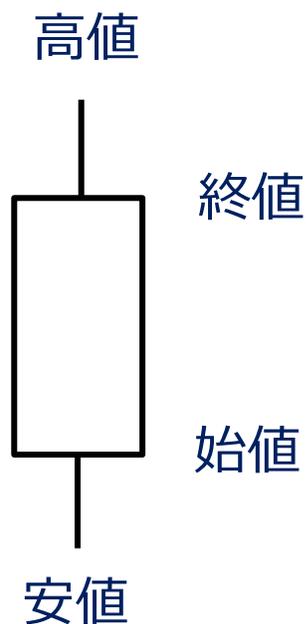
<Apple週足：MACDの設定は短期12週と長期26週>



ローソク足と平均足のちがい

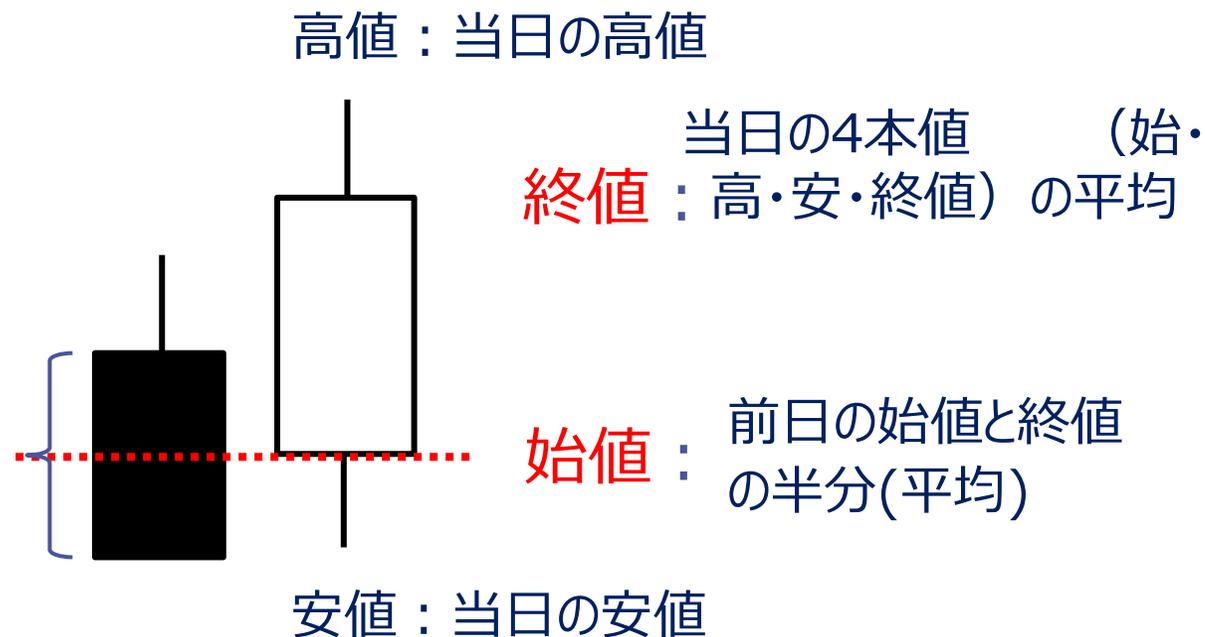
- 高値と安値の描き方は同じだが、始値と終値の描き方が異なる

<ローソク足>



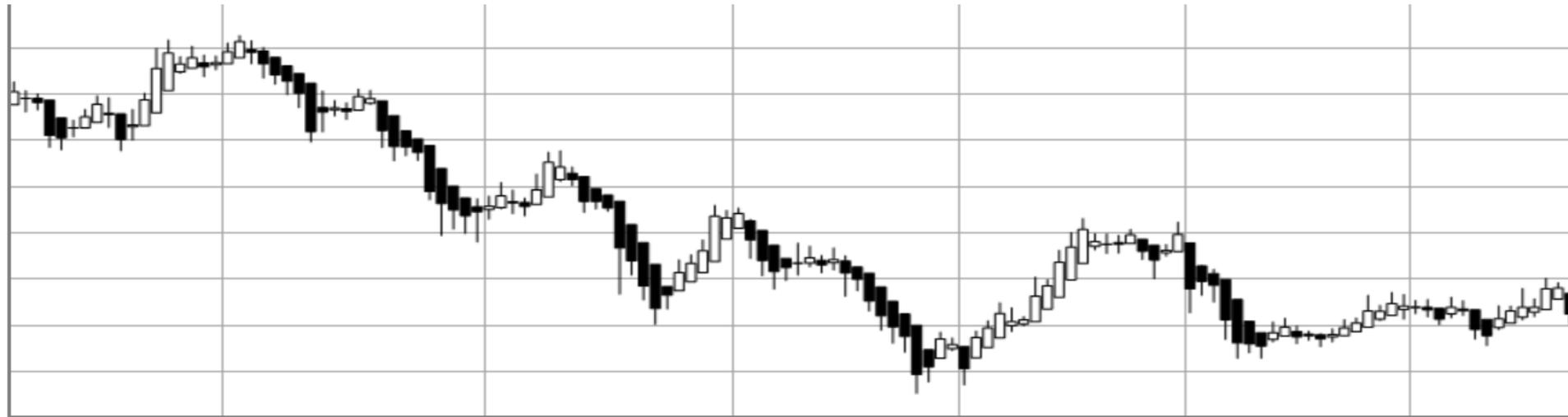
当日の4本値の動きを見る

<平均足>



当日の4本値の平均が、前日の値動きの中心と比べて上昇・下落したのを見る

■ 平均足の特徴



①「窓」空けがない：トレンドの継続が見やすい

→上昇トレンドは陽線、下落トレンドは陰線が連続して並ぶ

②トレンド転換の兆し

→陽線と陰線の斑点がトレンド転換のサイン

→サイン点灯は比較的早く、ダマシも多い

■ MACD(移動平均収束発散)について ~ 日足の場合 ~



■ MACD(移動平均収束発散)について ~ 週足の場合 ~



■ 「MACDの設定をどうするか？」問題

■ MACDの考案者：Gerald Appel氏が勧めるパラメータ

	EMA(短)	EMA(中)	シグナル
短期間	6日(週)	19日(週)	9日(週)
中期間	12日(週)	26日(週)	9日(週)
長期間	19日(週)	39日(週)	9日(週)

■ 短期トレード志向のパラメータの組み合わせ

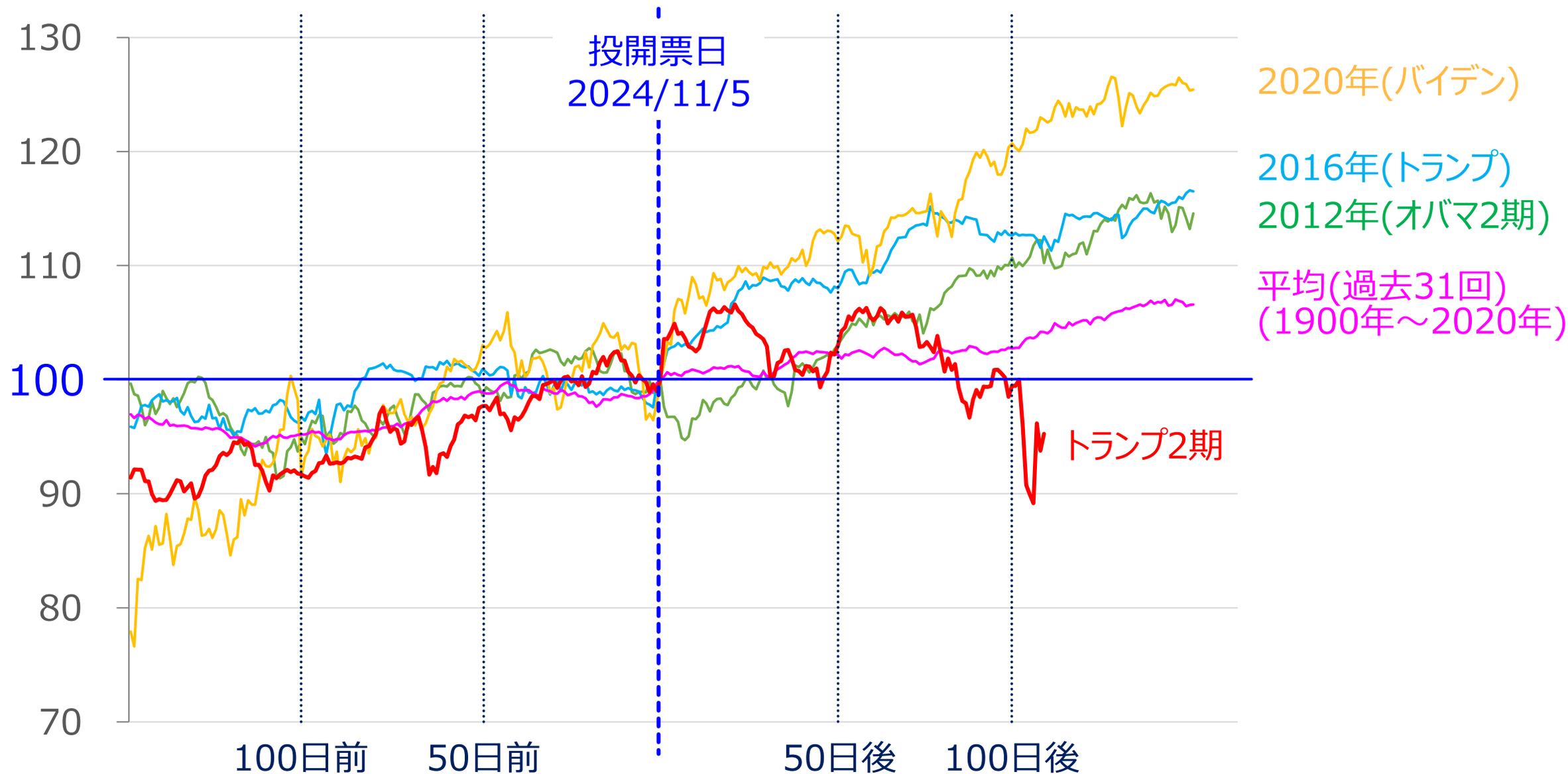
9	17	7	※Chris Manning氏
8	17	9	※Joe DiNapoli氏

■ 弱いトレンドに流されず、大きなトレンドに絞るパラメータ

48日(週) 104日(週) 9日(週)

米大統領選挙前後の株価(NYダウ)の動き

※投開票日および前日を100



■ 「マーケット・フレンドリー」のイメージを裏切ってきたトランプ大統領の3カ月間

① 最優先で取り組んだのが、「関税」と「歳出削減」

- ・ 関税強化による不安…インフレ再燃、景気減速、貿易戦争化
- ・ 「DOGE(政府効率化省)」の姿勢に対する批判、行政の混乱警戒
- ・ 長い目で見れば、財政改善と貿易不均衡の是正は重要

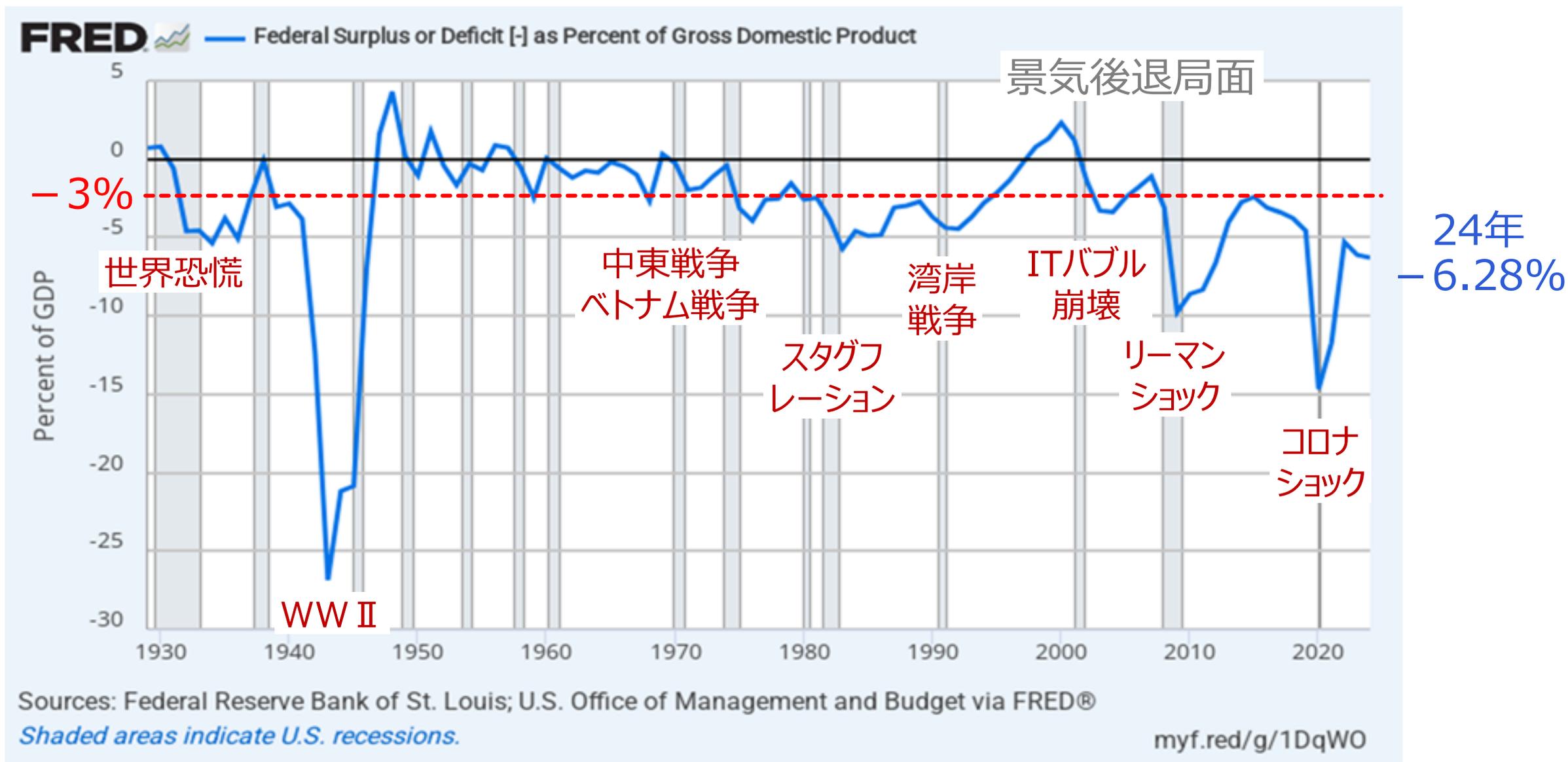
② トランプ大統領は「マーケット・フレンドリー」を放棄したわけではない？

- ・ 昨年の米大統領選挙勝利の一因…バイデン政権時のインフレへの不満
- ・ 株価を上げるよりも、まずは物価や金利を下げることを優先させている可能性

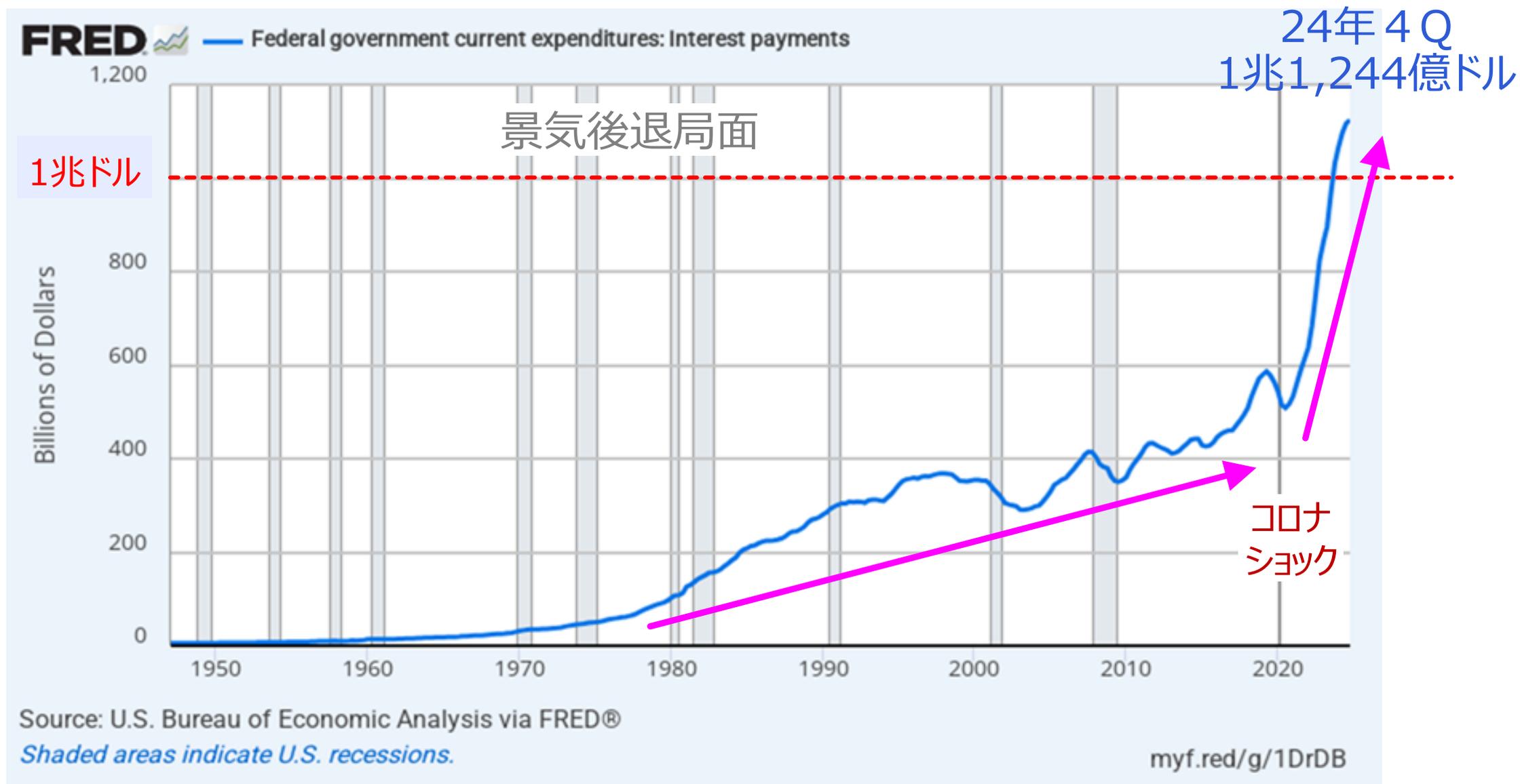
③ 今後の減税や規制緩和で、「マーケット・フレンドリー」に傾く可能性

- ・ いつ？…政権発足から100日(4/29)、独立記念日(7/4)
- ・ 政権の目論見通りに進むかが焦点

米連邦政府の財政収支の対GDP比(%)の推移

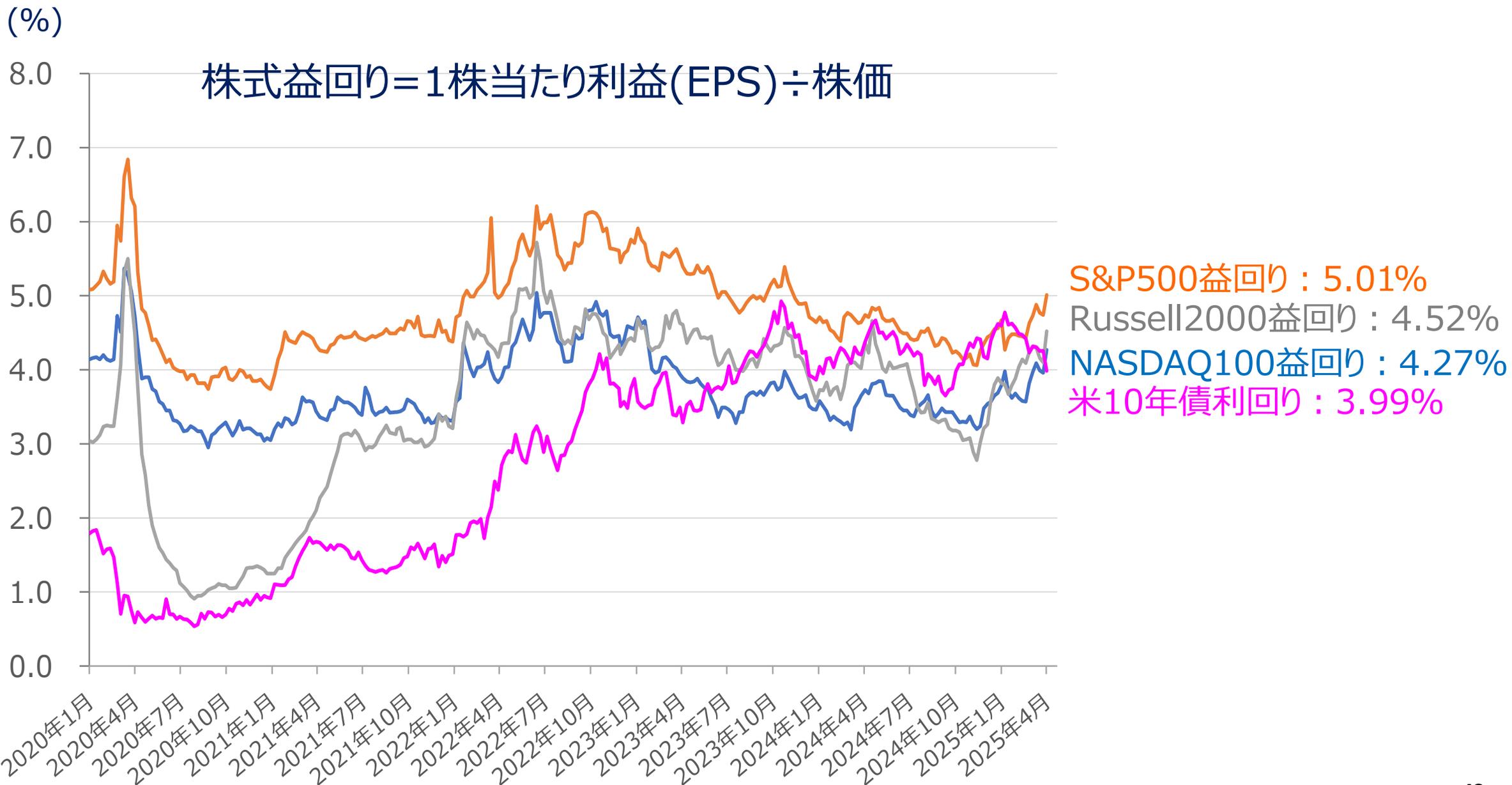


■ 米連邦政府の利払い額の推移



米株価指数の益回りと米10年債利回り比較

2025/4/4時点



■ 米トランプ政権による関税政策のねらい

① 政治的な手段・メッセージ

- ・ 政権発足後、まもなく打ち出した(カナダ・メキシコ・中国)
- ・ 相手国に、違法薬物や不法移民などへの対策を迫るのが狙い
→ 中国は報復関税で対抗

② 外国企業による米国内での生産、米国への投資を促す

- ・ 自動車関税、鉄鋼・アルミなど
- ・ 「アメリカ・ファースト」の面が強い…交渉や妥協の余地は少ない
- ・ 対象分野が拡大し過ぎると貿易戦争化するリスク …半導体、製薬など

③ 相手国との貿易不均衡、非関税障壁などの是正

- ・ 相互関税
- ・ 交渉や妥協の余地あり、緩和される可能性(理不尽な要求が無い限り)

■ 米景気の減速の答え合わせはこれから

① 2月の終わりごろから警戒感出始める

- ・ 米経済指標で景気減速を匂わせるものが増え始める
- ・ 米小売企業(Wマートなど)の一部で慎重な業績見通し

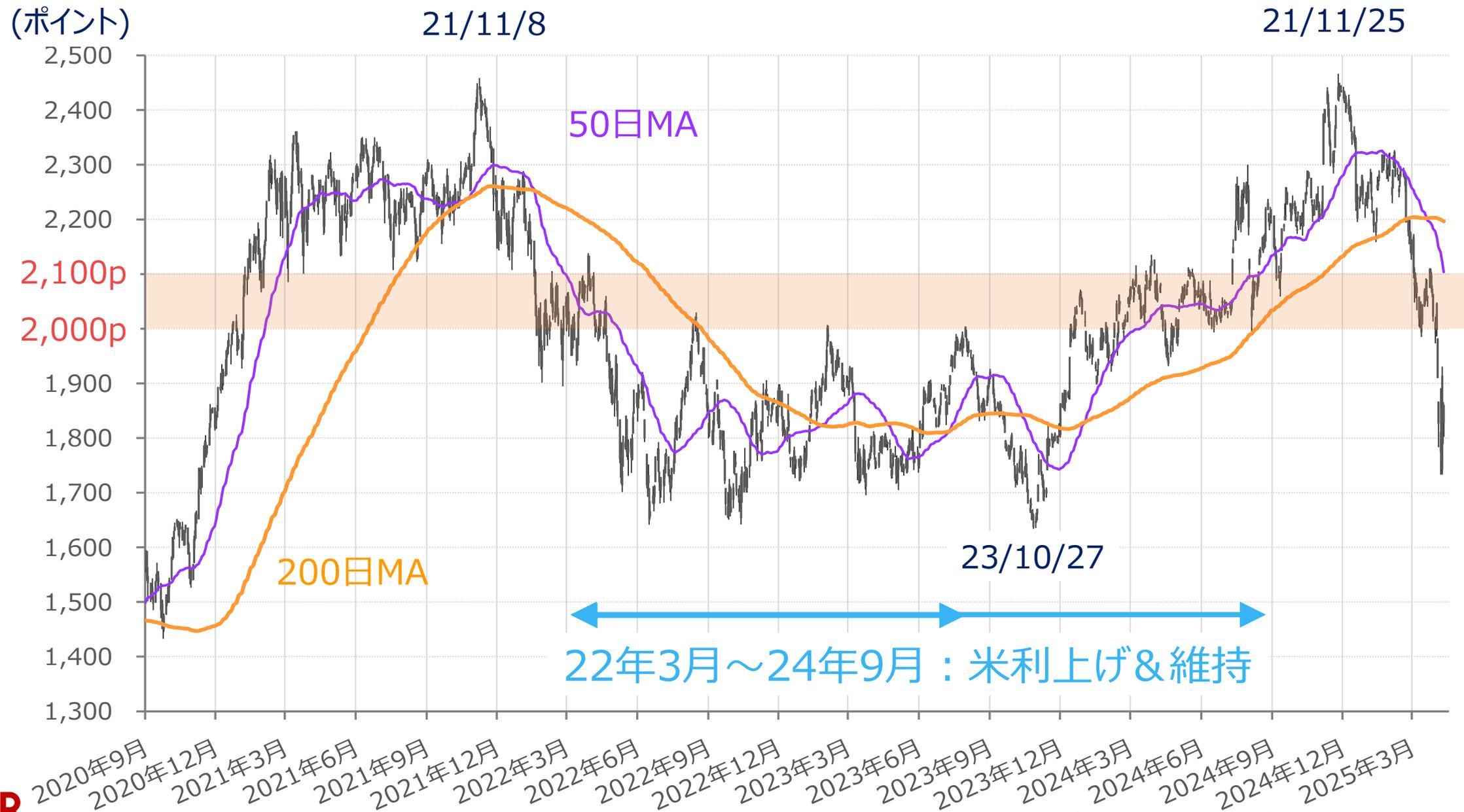
② 一部で「スタグフレーション」への不安が高まる

- ・ 「景気悪化→利下げ」観測を阻む米トランプ政権
→ 状況がコロコロ変わる不確実性、政策の副作用によるインフレ & 金利高止まり
- ・ 「先行・現況系」経済指標にも兆候現れる
→ ミシガン大学消費者態度、CB消費者信頼感、個人消費支出(PCE)など

③ 景気減速が「一時的」か「継続的」かをこれから確認

- ・ 3月分以降、関税やDOGE(政府効率化省)の影響が出始める？

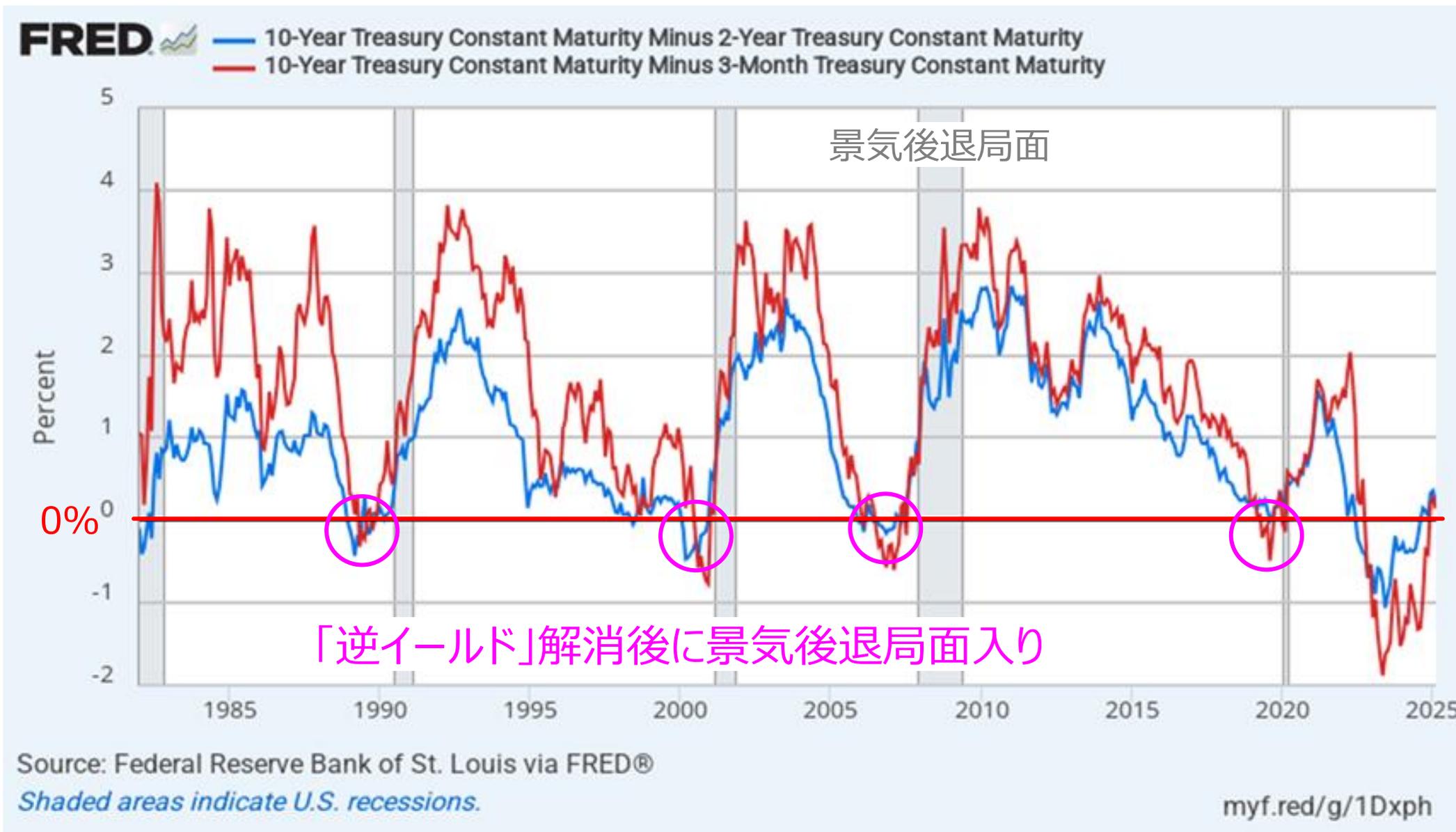
■ 米ラッセル2000(日足)の推移 4/11時点



出所：Bloombergデータを元に作成

■ 米ISM非製造業景況指数の推移





■ 米10年債利回りの推移(1962年～)



Rakuten 楽天証券

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔ゼロコース（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文のご利用が必須となります。

（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。

※1 SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。

※2 「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。

※3 ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場(ToSTNeT)に発注を行い約定させるシステムをいいます。

〔ゼロコース（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

【いちにち定額コース】

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

【かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用】

リスクについて

かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

売買手数料は無料です。

かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

- カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。レバレッジ型 E T F 等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われなかった場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

● 株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応していません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

● 大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

● 税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

外国株式のリスクと費用について

■外国株式 海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.275%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式信用取引】

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

- 約定代金の0.33%（税込）
- ・最低手数料：0米ドル
- ・上限手数料：16.5米ドル（税込）

米国株大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。米国株大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

【米国株式信用取引（米国株大口優遇）】

約定金額にかかわらず取引手数料は0米ドルです。

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

外国株式のリスクと費用について

【米国貸株サービスにかかるリスクおよび費用】

●リスクについて

米国貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について

貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっています。そのため、貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。また、株式分割等コーポレートアクションが発生した場合（整数倍の株式分割を除く）、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、お客様は、株主の権利を獲得します。

●配当金の情報について

米国貸株サービスにおける配当金の情報は、S&Pグローバル社より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

●大量保有報告の提出について

貸株対象銘柄について、楽天証券およびまたはそのグループ会社等の保有が基準以上となった際にSEC（Securities and Exchange Commission：米国証券取引委員会）に報告書を提出する必要性が生じます。その場合において、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等を報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

●税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、配当金相当額は外国税額控除の対象外です。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。